



すびっこ 美術館

石神幼稚園

佐川 琴子ちゃん



海で遊んだよ

夏休みに家族で海に遊びに行ったときの絵を描いてくれたのは、琴子ちゃん(6歳)。「ママと一緒に貝殻をたくさん拾ったの。カニも見つけたよ!」と元気いっぱい話してくれました。拾った貝殻でネックレスを作ったそうです。

ぼくの夢 わたしの夢



夢は…。 “建築士”

中丸小学校5年 ● 榎沼 耶雲

ぼくの夢は、建築士になることです。そのためには、今から大学まで、継続して勉強する必要があります。建築士は、正確な設計図を作成しなければならないので、算数を中心にしっかり勉強したいと考えています。

ぼくの祖母は、古い1階建ての家に住んでいます。家の中には段差などがあり、暮らしている中で危険なところがあります。建築士になったら、便利で使いやすく、住む人の足腰に負担の少ない家を設計したいです。そして、お年寄りの方も“安全で快適に暮らすことができる家づくり”を提案したいと考えています。

夢をかなえるために今のぼくができることは、しっかり勉強することと、どんな家があるのか、建築士になるためにはどんな技術が必要なのかを調べることだと思えます。今できる努力を積み重ねて、絶対に夢を実現させたいです。

わが家の子育てノート

秋野 貴子

私たち夫婦が父親・母親になりもうすぐ8年――。

2008年12月20日、午後5時44分。私たちの宝育ての歴史がスタートしました。

私の目標は、「子どもたちの母親は私です!」といった日も、どんなことがあっても、胸を張って答えられる自分であることです。子育ての目標は、周りの人にどう思われるかではなく、自分の子育てをすることです。子どもたちに、目いっぱい愛情を注いで、悪さをしたときは目いっぱい叱る。目いっぱいケンカもして、それ以上に仲良くする。目いっぱい一緒に頑張って、笑い合っても子どもたちと全力で向き合っていく。これが私と主人で決めたことです。正解も不正解もなく、不安になることもありますが、1日1日、宝育てを頑張っています。

「わが家の子育てノート」の話をいただいたとき、どんなことを書くか悩みました。こんな機会はめったにないと思い、私たちから子どもたちへの最初のプレゼントである、名前の由来を記録しようと思えました。子ども

たちが大きくなったときに思い出して、見てくれたらうれしいです。

長男の虎太郎(7歳)。生まれ初めて初めて顔を見たとき、「虎太郎だ!」と直感が走りました。虎の文字には、強く、たくましく、元気で男の子らしく成長してほしいという思いを込めました。

長女の小桃(4歳)。主人と私が出会う前からお互いに、将来女の子が生まれたら、桃の文字をつけたいなと、偶然同じことを考えていました。そして奇跡的に3月に生まれたわが子。桃の文字には、芯が強く、パワーのあるたくましい女の子になってほしいという思いを込めました。

次男の銀介(2歳)。金色よりも華やかではなく、目立たない存在かもしれない銀色。決して自分をおごらず、常に上を目指して生きてほしいという思いを込めました。

虎太郎、小桃、銀介…3人とも、私たちのもとに生まれてくれて、本当にありがとう。これからもずっと、ありったけの愛情をあげるからね。



ぜひご利用ください!



村公式アプリ 「こちら東海村」



村公式子育て応援アプリ 「のびのび子育て帳」



村公式フェイスブック 「東海村ご当地レポーター」



村公式ツイッター 「東海村」